

2025年度 がんプロ演習問題【多重がん】

※全ての症例は多重がんルール適用対象判定表でルール適用となっている前提で回答をお願いします。

問1 以下の症例について、多重ルール表の該当する使用部位とルール番号を記入してください

例) 使用部位 ( その他 ) ルール番号 ( M5 )

① 上行結腸と横行結腸に独立した病変がある

【組織型】 上行結腸：Micropapillary carcinoma

横行結腸：Tubular adenocarcinoma

使用部位 ( 大腸 ) ルール番号 ( M5 )

② 左腹部と腹部正中それぞれに皮膚がんを認める

【組織型】 左腹部：Nodular melanoma

腹部正中：malignant melanoma

使用部位 ( 皮膚黒色腫 ) ルール番号 ( M4 )

③ 右乳房に浸潤癌を認める。その後、左乳房に多発性上皮内癌を認めた。

使用部位 ( 乳房 ) ルール番号 ( M6 )

④ 左腎 (A腫瘍) に浸潤癌を認め、手術を実施。腫瘍の遺残は認めない。4年経過後のフォローCTで左腎 (B腫瘍) に新たな癌を認める。

【組織型】 左腎 (A腫瘍)：Clear cell renal cell carcinoma

左腎 (B腫瘍)：生検せず臨床診断

使用部位 ( 腎 ) ルール番号 ( M11 )

⑤ 骨髄生検で本態性血小板血症を認め、治療を開始。半年後病状が急速に進んだため、再生検をしたところ急性骨髄性白血病を認めた。

使用部位 ( 造血器腫瘍 ) ルール番号 ( M10 )

2025年度 がんプロ演習問題【多重がん】

※全ての症例は多重がんルール適用対象判定表でルール適用となっている前提で回答をお願いします。

問2 以下の多重がん判定で誤っているものを全て選択してください

A：右乳癌に対し手術を実施し、断端陰性であった。6年後、右乳房に新規病変を認めた。医師カルテには異所再発と記載されていたが、病理報告書には再発ではないと記載があったため、多重として登録した。

B：HCCに対してTACEを施行し、腫瘍は消失した。1年半後、肝臓に新たな腫瘍を認めたため、多重として登録した。

C：左右の腎盂と左腎に癌があるため、「腎盂・尿管・膀胱・その他の尿路系」のルールM3を適用しなかった。

D：右肺上葉と左肺上葉に腫瘍を認める。左肺上葉は生検で乳頭型腺癌、右肺上葉は擦過細胞診で腺癌の診断となる。「肺」の同義語と定義の表において同一枠に属しているためルールM7を適用した。

E：S状結腸内に多数のポリープを認め、内視鏡的に切除した。切除病変にpTisを認めた。翌月に残存病変を切除したところpT1を認めた。浸潤癌の情報を優先しつつも上皮内癌の情報も組合せて単発として登録した。

F：鼻腔にそれぞれ独立したA腫瘍とB腫瘍を認める。B腫瘍の組織型が同義語と定義の表に含まれていなかったため、主治医に原発部位について問い合わせた。他の部位が原発であったため、多重がん判定をやり直した。

G：膀胱に複数の浸潤性尿路上皮癌を認め、手術を実施した。腫瘍は取り切れている。術後フォローの尿細胞診で悪性判定となり、TURBTを実施した。病理でpT2以上の尿路上皮癌の診断となる。最初の膀胱癌の診断日から3年を超えていたため、多重として登録した。

H：CT検査で胃および腹腔動脈周囲のリンパ節に腫大病変を認める。胃内病変から生検したところ、DLBCLと古典的ホジキンリンパ腫の診断となる。組織型コード9596/3で単発として登録した。

<回答欄>

( B C D G )